

# 嶋満神社便り

平成二十五年九月号(第8号)

発行 嶋満神社奉賛会

## 本年度の例祭も無事終了

さしもの猛暑も一段落の感があるこの頃ですが、会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて先にご案内の通り、去る八月二十五日(日)、嶋満神社の例祭が恒例「浮島夏の夜祭り」と併せて行われました。

当日は午前中から時に激しく雨も降り、準備の皆様には大変ご苦労とご心配をおかけいたしました。が、午後からはようやく天候も回復し、祭礼の始まるころには夕焼け空となりすがすがしい気分で神様をお祀りすることができました。これも会員の皆様の精進のたまもの、そして八幡様のおかげと喜んでおります。

毎回遠路お越しいただく森本宮司様にも感謝申し上げます。

尚、当日は沢山のお供えを頂戴致しました。また例祭の運営、参拝者へのお神酒のお接待など、ご奉仕いただいた会員各位には厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

## お宝発見!

夏はご先祖様の霊だけでなくいろいろな「不思議」と出会う季節。当神社に関する素晴らしい発見がありました。

歴代奉賛会会長のお家柄、高田工務店様の当代社長、高田稔様より寄託を受けました。長さ二十、二センチ、巾四、二センチ、厚さ二、三センチの木製「御璽」です。



会社の倉庫に眠っていたのを発見されたそうですが、いつ頃のものか、また何に使われていたのかは不明です。

皆様のお宅にも眠っている古いものがあればお知らせください。

筆者が交誼をいただく神戸、本住吉神社の資料館事務局長の方が会報で述べておられます・・・。

「どんなものでも捨てる前に相談してください。貴重な発見があるかもしれません・・・。」

近年のお祭りを見ていると当神社周辺の高層マンション三棟の住民の方々だけでなく、古くから在住の町内会員さんのお宅でも世代交代が急速に進み、新しいお顔がたくさん見受けられます。その方々にしっかりと当社存在と歴史をお伝えしていかねばと思っております。